

謹賀新年

新年を迎え決意を新たに

八方原の環境を守る会
代表 中村文二

美濃が浜の初日の出

皆様新年あけましておめでとうございます。旧年中は多くの皆様のお力添えをいただき予想以上の活動ができましたこと、あらためて御礼申し上げます。今年もより一層様々な活動を続けてまいる所存でございます。引き続きご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

昨年の元日は能登半島地震で大きな衝撃を受けました。能登地方は9月には大水害に見舞われました。自然災害の恐ろしさをまざまざと見せつけられました。

程度の差こそあれ、この八方原地区でも道路冠水や家屋の浸水など被害の多い令和6年でした。当会は農環境の保全が大きな目標ですので、毎年のようにやってくる梅雨時期の集中豪雨に常に警戒をしている状態です。

そんな厳しい環境の中で、地域の皆様に様々な情報を提供してより住みやすい地区になるように不断の努力を続けていくところです。昨年度はそうした広報活動が多くの方に評価され、山口県日本型直接支払推進協議会会長賞を頂きました。皆様の叱咤激励のお陰

と感謝申し上げる次第です。

農業は自然の力をなくしては、何一つできません。その強大な力の一部を利用させていただき、年ごとに替わる気象の条件を考えながら何とか対応していく毎年です。留まっただけでは、変化について行かれません。昨年の補修技術研修では、専門業者に頼るのではなく軽微なものなら、自分たちで補修

を行なう方法や事例を見せていただきました。損傷の見極め、対処の仕方、補修材料の選定など、たくさん学びがありました。取り入れられるものはどんどん自分たちのものにしていく必要があります。

私たちの地域の施設は50年以上を経過しているものです。それらは年々施設は傷んでいきます。一度にたくさん更新や補修は無理ですが、少しずつでも一年でも長く使えるように、少しでも良くなるように地道な活動を続けていきます。

小雨について一番長い農道をクリーンアップ



草を刈るものと除去、異動させるものがチーム

12月15日冬の農道除草清掃作業を行いました。今回は延長1400メートルと最も距離の長い西側外周路の除草清掃です。小雨がぱらつく天候となりましたが、16名の参加者がありました。区間を3区間に分けて、それぞれに人員を配置して作業を行いました。たくさん刈払い機などの活用もあって予想以上に早く終わることができました。また水路にかかる立木の伐採も同時に行いました。

次回は1月12日(日)大森農道南、19日(日)西ノ池・金原農道です。集合はいずれも朝9時です。

景観形成の花壇を再整備 冬の花を植え付け



小さい花壇なので鍬とスコップで整備

多面的機能支払交付金事業の必ずやらなくてはならない項目がいくつもあります。「景観形成」という項目は環境の美化向上に対する活動が上げられています。

当会では市道傍らの農地の中に花壇を設けて植栽を進めていきましたが、集中豪雨での冠水などで花壇が傷んでしまい、そのままになっていました。

11月24日、雑草を刈り、固くなった土を耕し、腐葉土を入れて花壇を整備し、そこに4色のビオラを植えつけました。

表彰式の写真が届きました

11月の山口県日本型直接支払推進協議会の表彰を頂いたことは既にお知らせしていますが、大会事務局より特別な写真を送ってくれましたので、紹介いたします。満員のKDDI会場の雰囲気がいかがいせんか。



会長から表彰状の授与

会長から表彰状の授与... 満員のKDDI会場の雰囲気がいかがいせんか。

自然災害時の警察機動隊の活躍

11月13日、山口県警察学校の視察に参加することができました。学校に併設して警察機動隊の訓練場所もありました。そこではさまざまな場面に対応する訓練が行われていました。

災害支援の際の装備を見せていただきましたが、宿舎から食料等すべて、自前でやることになって驚かされました。大型のテントの中で寝泊まりし、トイレも自前で持ち込み処理するのです。大変なご苦労を強いているのです。

このトラクター「麦の植え付け職人」



稲株の圃場が麦畑に次々に変わっていく

11月下旬から麦植えがはじまりました。事前に圃場の排水の強化、土壌の改良としてミネラル分の補給などを行い、麦植えとなります。

直前まで稲株が残っている圃場に、専用の植え付けアタッチメントのついたトラクターが入ると、耕耘、畝立て、溝堀、植え付け、薬剤の散布、土壌の埋め戻し、転圧というところまで一度にこなしてしまいます。

ゆっくりではありませんが、人の作業では考えられない高度で正確な仕事をこなします。良い麦が育つことを願います。

緊急連絡網のお願いです

先月来小紙でお伝えしていますが、自治会の会員に緊急な連絡ができるように連絡網を作ることになっています。

今現在ライングループの登録者は23名です。メールの登録者は11名です。先日は緊急の連絡を実施できました。方法は二つです。一つは携帯電話等のメールを使用する方法、もう一つはSNSのラインを使用するものです。

まずメールアドレスを登録したいと思われた場合は、ご自身のスマートフォンQRコードリーダーを開いて、この欄のQRコード



を読み込ませてください、メールを送るような画面になりますから、ご自身の名前を書き込んで送信してください。ラインで参加される方はラインのホーム画面の右上にある「友だち+」をタップします。するとQRコードを読み込む画面になりますから、それの下側のQRコードを読み込めばOKです。ラインの安全対策で友達関連の読み込み年齢の制限がある場合があります。事前に、ご自身の個人情報として年齢なども正確に入力しておいてください。

